

こいのもり
恋森と恋湊
こいのみなと

く伝えられた国府と国庁く

恋木林

ふくろふの嘯うそ鳥に鳴なくやら恋の森

恋湊

みなと舟夜寒に恋の人数かな

これは、江戸時代前期に松屋芭蕉と親交のあった武家俳人、山岸半残はんぞんが編んだ『伊賀名所句集』に収められた恋の句です。冒頭にある「恋森」「恋湊」は俳枕はいまくらといい、俳句に詠まれる山や川、名所・旧跡などを指します。

恋森と恋湊は、伊賀のどこを指すのでしょうか。江戸時代中期の書物『三国地志』によると、恋森は上野羽根にかつて所在した貴船社きふねの「貴船森」のことで、恋湊は恋渚ともいい、西条の「国府湊こうふみなと」の別名と記されています。また、西条字古川跡がその地であるとも伝えられています。

つまり「国府」が
「恋」に誰り、恋湊
となったのです。「国
府湊」という地名か
らは、流通の拠点で
あった川湊が柘植川
にあったことがうか
がえます。

ところで、坂之下



▲国府（丸囲み部分）の表記がある
江戸時代の絵図

にある古代伊賀国の中心であった伊賀国庁跡がある場所は「国町」と書き、地元では「こくつちよ」と呼ばれています。国庁は、古代の国の政治や儀式を行う場所で、それを含めた地区が国府とされています。

「こくつちよ」や「恋森」「恋湊」をたどっていくと、坂之下の伊賀国庁を中心に、関連施設である湊などが、現在の府中地区の北東部に点在していた様子を思い浮かべることができます。

伊賀国庁跡は、平成3（1991）年、ほ場整備事業に伴う発掘調査で発見され、平成21（2009）年に国史跡に指定されました。現在、地元の皆さんの協力を得て、史跡整備事業を進めています。

「こくつちよ」や「恋森」「恋湊」をたどっていくと、坂之下の伊賀国庁を中心に、関連施設である湊などが、現在の府中地区の北東部に点在していた様子を思い浮かべることができます。

伊賀国庁跡は、平成3（1991）年、ほ場整備事業に伴う発掘調査で発見され、平成21（2009）年に国史跡に指定されました。現在、地元の皆さんの協力を得て、史跡整備事業を進めています。

文化財課歷史資料係

52 • 4380
FAX 52 • 4381

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

介護と人権 ー青山支所住民福祉課ー

人生 100 年時代と言われる今、誰もが健康で長生きをしたいと願っています。しかし、加齢とともに体の機能は衰えます。もし、家族に介護や支援が必要になったとき、穏やかな日々を過ごしてもらうために、その人の考え方や生き方を尊重することが大切です。

ところが、介護が日常的になってくると、介護をする人もされる人もお互いにストレスを感じたり、疲れてしまうことがあります。すごく仲の良い夫婦や親子だったのに、介護生活が続くと「暴言を吐いてしまった」「叩いてしまった」という話も聞きます。皆さんはどういうものが介護に関する虐待にあたるかを知っていますか。

言葉や態度で精神的苦痛を与える「心理的虐待」、
暴力的行為による「身体的虐待」、介護や世話の放棄・
放任による「ネグレクト」、本人が同意していない

性的な行為やその強要による「性的虐待」、本人の同意なしに財産や金銭を使用する「経済的虐待」の5つに分類されます。これらの虐待は、介護施設や病院などで起こったという報道もありますが、家族であっても決して許されない人権侵害です。

介護や支援を必要としている人は、時に自分の考えが上手く伝えられないことがあります。また、介護をする人はコミュニケーションが思うようにできないことや、ストレスや不安からつい感情的になってどうしてもなくイライラしたり、辛くなったりしてしまうことがあります。

介護する人の感情が落ち着いていると、介護される人も安心します。

悩んだ時は身近な人や専門機関に相談してください。周りの人も思い悩んでいる様子に気づいたら、一緒に寄り添い、支えていきましょう。



伊賀市ミュージアム

青山讃頌舎 だより

榊莫山展

おおらかな書風と飾らない人柄で多くの人々に親しまれた伊賀市出身の書家、榊莫山（1926～2010）の作品を多数展示します。



【と き】 4月16日(金)～5月9日(日)

【ところ】 ミュージアム青山讃頌舎

【料 金】 300円 ※高校生以下無料

【問い合わせ】 文化交流課

☎ 22-9621 FAX 22-9619

✉ bunka@city.iga.lg.jp



忍者線（伊賀線）だより



伊賀鉄道ではじめよう、輝く学生生活！

高校に進学する皆さん、おめでとうございます。通学手段はもう決まりましたか。通学を電車内で過ごす、勉強や交流、休息するなど時間を有効に活用できます。また、毎日決まった時刻の電車を通うと、規則正しい生活習慣が身につきます。

年間輸送人員の半数以上を占める学生の皆さんに積極的に乗車いただくことで、地域の大切な公共交通を次世代に残すことができます。「車で送迎してもらおう」と思っている人は、ぜひ伊賀鉄道を利用をしてみませんか。

伊賀鉄道通学定期券の購入費助成は、市ホームページをご確認ください。

【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694



情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

亀山市

春季限定 新作「春の陣」も登場
～水口岡山城跡・水口城 御城印～

寺社の御朱印のお城版で、城の名や城主の家紋などを記した「御城印」。水口岡山城跡版と水口城版が好評発売中です。



さらに4月末までの期間限定で、水口岡山城跡版に桜をモチーフにデザインされた新作「春の陣」が登場しました。

甲賀市へお越しの際は、ぜひ記念にお求めください。

【販売場所】 甲賀市ひと・まち街道交流館
(滋賀県甲賀市水口町八坂 7-4)

※水口城のみ水口城資料館（水口町本丸 4-80）でも販売。

【販売価格】 各 300円

【問い合わせ】

(一社) 甲賀市観光まちづくり協会

☎ 0748-60-2690

華やかに春を彩る
～亀山市内の桜の名所～

穏やかな日差しに春を感じるようになると、亀山公園や太岡寺園、正法寺山荘跡など亀山市内の名所で桜が景観を彩り、訪れた人たちを楽しませてくれます。亀山市にお立ち寄り際には、ぜひご覧ください。



亀山公園



太岡寺園



正法寺山荘跡

※場所や見頃などは、亀山市観光協会ホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

○(一社) 亀山市観光協会

☎ 0595-97-8877

○ 亀山市地域観光課観光交流グループ

☎ 0595-96-1215

